

H18～22: 岩手県知的財産戦略

基本的方向

産業成長に向けた知的創造サイクルの確立

- 中小企業の競争力強化
- 産学官金連携の推進
- 牽引産業の重視(ものづくり産業、農林水作業)

地域ブランドの確立と産業振興の推進

知的創造サイクルを支える体制整備

課題

企業の知的財産活動について具体的な位置付けがなく、実施主体が不在

県内経済の停滞からの脱却と早期の産業の復興の実現のため、本県産業の強みを生かした、より具体的・実効性のある戦略づくりが急務

大学・研究機関における取組が堅調である一方、知的財産の支援施策は企業に浸透しておらず、産業支援機関における取組強化が必要

H23～30: 岩手県知的財産活用促進プラン

目指す姿

- 東日本大震災からの早期の復興を実現するため、知的財産が競争力の確保や高付加価値化の有効な手段となるという認識が浸透し、県内経済の復興・活性化を実現
- 産学官金の関係機関が一体となって、“知的創造サイクル”が循環し、既存産業の高度化や新産業の創出を推進する“知的財産立県”の実現

基本的方向性

- ① 地域産業の早期の復興と更なる展開を牽引
- ② 産学官金の目標と役割を明確化
- ③ 中小企業の知的財産の戦略的な取組を推進
- ④ 消費者ニーズに対応した地域資源の有効活用

重点的に取り組む事項

- ① 企業経営に資する知的財産マネジメントの強化
- ② 知的財産を生かした農林水産業振興と地域ブランドの育成
- ③ 知的創造サイクルを支える総合的かつ組織的な産学官金の体制整備

施策体系

I 企業における知的財産の“創造”	企業の研究開発支援、共同研究の推進
II 企業における知的財産の“保護”	知財総合支援窓口でのワンストップサービス化、契約締結支援、各種制度の情報提供
III 企業における知的財産の“活用”	知財を重視した企業経営の推進、事業化への支援、特許流通の促進
IV 地域資源の活用とブランド確立支援	農林水産分野での知財創造サイクルの確立、ブランド化、地域資源を生かした産業振興
V 海外における冒認出願対策・模倣品被害対策	基盤的な対策と積極的な対策、被害への対応
VI 知的創造サイクルを回す環境・基盤の整備	知財総合支援窓口の設置、連携体制の構築、知財管理事務の迅速化
VII 県民が知的財産を尊重する風土の造成	普及啓発、情報提供、著作権の尊重
VI 知的財産に関する意識の向上と人材育成	人材育成、各種表彰制度の積極的活用

各機関の役割

企業
知財の戦略的な保護活用による新たな事業価値を創出する強い経営の実現

大学
知的財産の創出と人材育成による地域貢献

試験研究機関
県内企業への研究開発支援と技術移転

金融機関
資金調達の件活化や事業化支援

行政産業支援機関
総合相談支援体制及び情報は新機能の整備・強化